

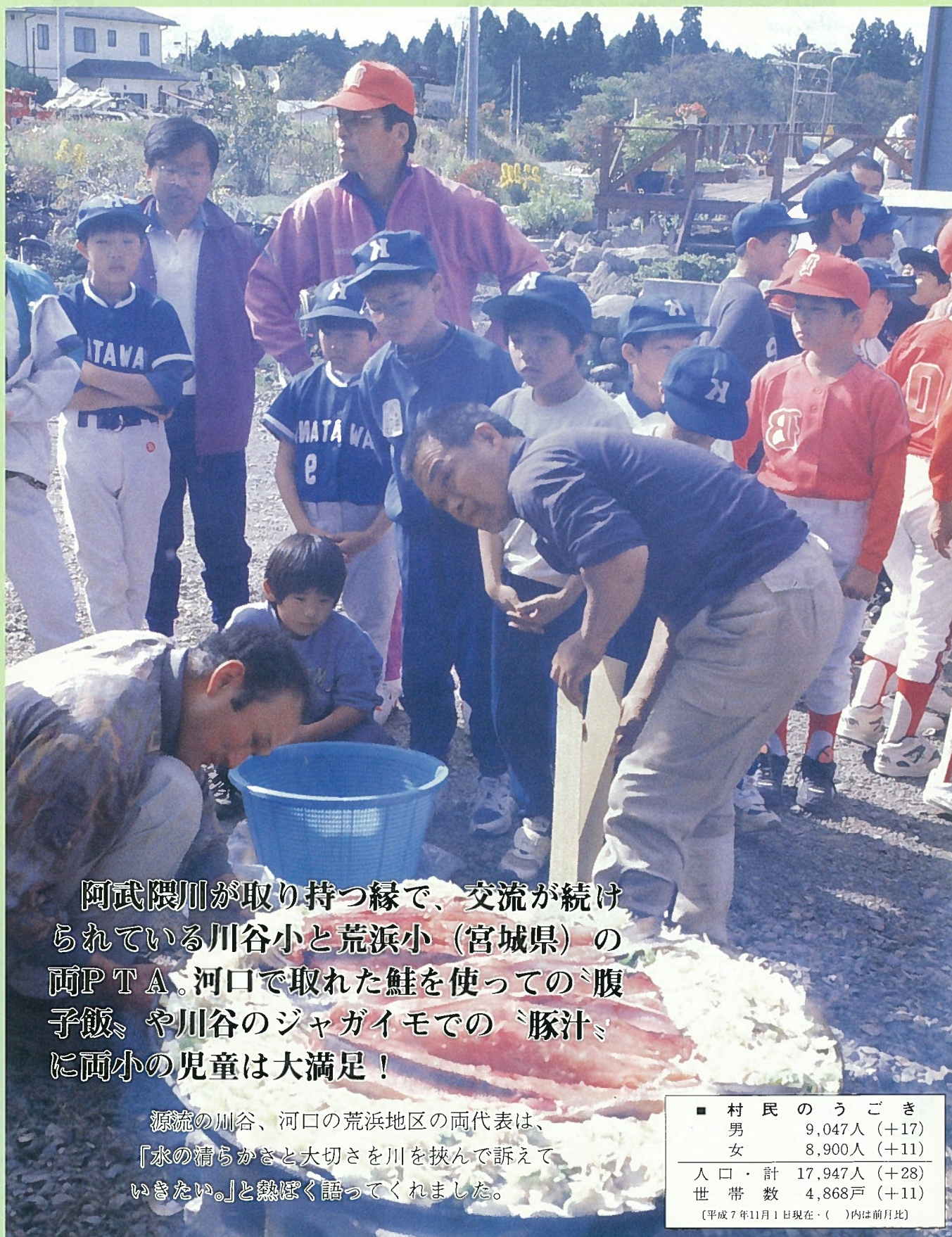


にしな

1995 12

No. 300

平成7年12月1日発行



阿武隈川が取り持つ縁で、交流が続けられている川谷小と荒浜小（宮城県）の両PTA。河口で取れた鮭を使っの「腹子飯」や川谷のジャガイモでの「豚汁」に両小の児童は大満足！

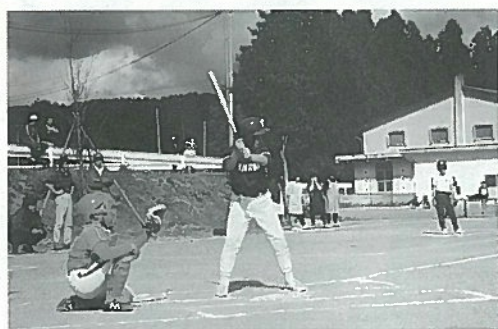
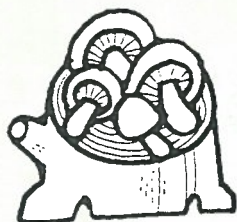
源流の川谷、河口の荒浜地区の両代表は、「水の清らかさと大切さを川を挟んで訴えていきたい。」と熱っぽく語ってくれました。

■ 村民のうごき	
男	9,047人 (+17)
女	8,900人 (+11)
人口・計	17,947人 (+28)
世帯数	4,868戸 (+11)
〔平成7年11月1日現在・（ ）内は前月比〕	

阿武隈川で

結ばれた山の子・海の子

川谷小と荒浜小（宮城県）との交流会



ソフト3回戦・野球3回戦のユニークな試合が行なわれました。



両校の父兄も再会で親睦を深め合いました。

Main Contents

〈主な内容〉

- ☐ 阿武隈川で結ばれた山の子・海の子……………2～3
- ☐ 「文化の日」村勢伸展の協力に感謝し
24人を表彰……………4
- ☐ 「太陽の火」と命名された炬火……………6
- ☐ 元議長・文化功労者、高木次郎氏が死去……………7
- ☐ 表彰されました。……………10

甲子のふもとに源を発する阿武隈川、この美しい川も、県内二百三十九キロを隔てて宮城県から太平洋に注ぐ頃には汚染されアブクの川などと言われさえします。

今から三年前、阿武隈川河口にある宮城県亘理町の荒浜小学校のPTAが、阿武隈川の自然にふれるという目的で、川谷小学校を訪れた際に、地区の開拓時代や学校の歴史をスライドで見たことがきっかけとなり交流が今日まで続いています。

この間、荒浜小のスポーツ少年団は甲子地区でスキー合宿、川谷小は荒浜で海水浴を行ったほか、また源流の石を荒浜小学校に、河口付近の砂を川谷小学校校庭の砂場に贈り合ったりもしました。

相互訪問を通して、川谷小児童が感じた、阿武隈川の河口巾が四百メートルあることの驚きと、荒浜の皆さんが、阿武隈川の清らかな水を知った感動は、同じだったようです。

このほど、荒浜小の野球スポーツ少年団（ベアーズチーム）とPTA（青田和宏会長）

一行三十人のみなさんが十月二十二日、川谷を訪れました。

わざわざ、川谷の子供たちに「海の幸」を味わってもらおうと、地元で取れた新鮮な鮭十四匹とイクラ、宮城産の新米ひとめぼれ三十キロを持参しました。

初めに川谷小学校の校庭で、ソフトボールなどの交流試合を楽しんだ後、報徳地区集落センターで昼食会が催されました。

荒浜からのお土産を使って早速、荒浜名物「腹子飯」や鮭を使つての「海のごちそう」、川谷地区で取れた野菜を使つての「豚汁」などに両校の子供たちは、秋の味覚を十二分に堪能したようです。

席上、荒浜小のPTA会長と川谷小PTA原田和信会長は、この美しい水を守るために「阿武隈川が取り持つ縁、双方の負担にならないささやかで、今後も阿武隈川の流れるように長続きする交流を続けていきたい。」と語りあっていました。



おいしい「腹子飯」を元気にほおばる川谷の子供たち！



肉に代って鮭を使つての「野菜炊」、おいしいそう。



この日、荒浜から「航海燈」が川谷にプレゼント！前荒浜PTA会長の島田さん(左)から川谷小PTAの原田会長さんに手渡されました。

「文化の日」村勢伸展の協力に

感謝し、二十四人を表彰



議場において菊地村長から賞状を受ける仁平捷夫氏

村の文化、教育等の振興にご協力戴いた方々に対しての平成七年度の感謝状贈呈式が、十一月三日役場議場で行なわれました。

受賞者をはじめ関係者五十人が出席しました。

菊地村長が「村勢伸展に対するご協力に感謝します。今後とも村勢振興に尽くしてください」と式辞を述べ、この後高田議長から祝辞がありました。

受賞者の方々は次の通り。 感謝状贈呈者ご芳名(敬称略)

- ▽菅原まき(千葉県) 分譲購入用地を寄贈
- ▽大橋駿司(東京都) 教育行政振興のため寄付
- ▽仁平捷夫(谷地中) 国体運営のため寄付
- ▽佐藤佳夫(間の原) 医療福祉向上のため寄付
- ▽白河地区管工事協同組合、国体運営のため寄付
- ▽穂積敬吉(東京都) 国体施設の環境美化のため寄付
- ▽長倉昭子(原中) 児童館運営のため寄付
- ▽連合福島・県南連合、緑化運動資金を寄付
- ▽和知繁蔵(白河市) 文化向上のため版画を寄贈
- ▽村職員労働組合、組合創立二十周年記念として社会福祉事業のため寄付
- ▽白河オリンパス親睦会、夏祭りの益金を社会福祉事業のため寄付
- ▽鄭小鎔(栃木県) 社会福祉事業のため寄付
- ▽三菱製紙白河工場、甲子の里希望の家建設賛助金として寄付
- ▽信越化学労組白河支部青年婦人部、バザー益金を心身障害児の社会復帰のため寄付
- ▽穂積敬吉(東京都) 交通遺児激励など福祉事業に寄付
- ▽白河高原開発、ゴルフコンペの益金を社会福祉事業のため寄付
- ▽五十嵐善栄(虫笠) 社会福祉事業に寄付
- ▽須藤保夫(熊倉) 社会福祉事業に寄付
- ▽菊池喜雄(上折口原) 社会福祉事業に寄付
- ▽新井好幸(一の又) 社会福祉事業に寄付
- ▽内海豊(馬場坂) 社会福祉事業に寄付
- ▽鈴木喜一郎(熊倉) 社会福祉事業に寄付
- ▽秋山栄(折口) 社会福祉事業に寄付
- ▽鈴木利貞(黒川) 社会福祉事業に寄付

踊りや歌が盛りだくさんの芸能発表会

この日のために磨いた芸に、会場から盛んな拍手

村文化祭行事の一つ、第三回西郷村芸能発表会が、十月二十二日、文化センターで開かれました。

村内の踊り愛好会やクラブ、教室など五十団体が出演。舞踊、カラオケはじめ大正琴、

コーラスなどが発表されました。

いずれも、この日のために練習を重ねてきただけあって、素晴らしい芸に会場からは、盛んな拍手が送られていました。



△「西郷小唄」を合唱する西郷お母さんコーラス



◁ 日頃の練習の成果を披露
中村キミ子さんの舞踊
「春雨情話」



△ 絵画や書の力作が並んだ文化センターの会場



△ 目を見張る作品の中に知っている人の名も！



△ 新鮮な野菜の直売も行われました。

『芸術に感性光る秋』

日頃の成果を発揮！！

今年も多彩だった文化祭

文化祭の展示会は、十一月二日から四日までの三日間、文化センターを会場に村文化祭実行委員会の主催で開催されました。

会場には、老人の作品、健康パネルや、趣味の作品、書道、絵画、手芸などが展示され来場者を楽しませていました。



「太陽の火」と命名された炬火

太陽の国で、全国身体障害者スポーツ大会採火式

第三十一回全国身体障害者スポーツ大会の炬火が、十月二十四日、総合社会福祉施設「太陽の国」で採火されました。

採火は、凹面鏡を使い太陽光を集中させて点火させるものですが、あいにくこの日は曇り空のため、先日同じ方法で採火した火が、車イスの市川節子さん(五五)の持つ点火棒に点火されました。

その後、トーチに移された炬火は、杉妻甲子(すのめこうし)県身体障害者福祉協会会長が「太陽の日」と命名。炬火保持者のリレー隊の中山真さん(四二)たちに県旗、大会旗とともに手渡されました。

交通機動隊の白バイ先導のもと、炬火は県旗、大会旗を伴って村内二区間を走った後、車両隊によって福島市に運ばれました。福島で「信夫の火」と一緒に、二十八日から二十九日の大会開催中、県営あづま陸上競技場で、「うつくしま ふくしまの火」として灯され続けました。



△入所者代表の市川さんの点火棒に点火。



△郡山女子短大生がコンパニオンとして式に花を添えてくれました。



△村内2区間でリレーが行なわれました。



△沿道で村民の皆さんも小旗をふって声援！



△菊村村長に入賞を報告する3選手の皆さん

本村からは三人の選手の皆さんが、当大会に出場し、入賞する活躍をしました。

越前睦子さん(小田倉原) 25種バタフライ 第二位
50種背泳ぎ 第一位
真船信行さん(勝負沢) 真船信行さん(勝負沢)
力丸明人さん(裏山南) バレーボール 第三位

元議長、村文化功労者

高木次郎氏が死去

人徳を偲び六百人参列



村議会議員をはじめ文化財保護委員、有線放送電話運営委員を歴任し、村の発展に大きな功績を残された高木次郎氏が十月二十三日に逝去されました。（享年八十五歳）

氏は、昭和三十年地域住民から推されて村議会議員に初当選。以来、昭和六十二年まで七期二十八年の永きにわたり在職。この間、総務常任委員長等を歴任するなど、高邁な政治信念をもって村の教育文化、福祉の向上に多大なる貢献をしました。

特に昭和五十年から六十二年までの十二年間、議長として議会の円滑な運営に尽力、議会議員として大きな功績を残されました。慎んでご冥福を、お祈りいたします。



すっかり定着した『郷の風音楽会』 エルムの鐘交響楽団クラシックコンサート

本格的クラシックコンサート、聴衆を魅了！

西一中の吹奏楽部二、三年生も合奏に参加。

北海道大学交響楽団OBで編成するオーケストラ「エルムの鐘交響楽団」を招待しての演奏会が十一月十一日、村文化センターで開かれ、聴衆約六百人（一、二部含む）がすばらしい演奏を堪能しました。

北大交響楽団OBで郷の風夢工房（代表・佐藤厚潮さん）メンバーの塩川道郎さんの、「卒業後も発表の場を持ちたい」という働きかけがきっかけで同楽団が結成されました。

過去、二回にわたり村内で北大生OBによるクラシックコンサートが開かれています。この日のコンサートでは指揮者に、ジャパンシンフォニア芸術監督、新星日本交響楽団特別顧問のロバート・ライカーさんを招いての本格的な演奏会。

会場にはクラシックファン多数が詰めかけましたが、演奏の曲が終わるたびに会場が

らは感嘆のため息と大きな拍手が聞かれました。



△西一中吹奏楽部との合同演奏。



△演奏終了後、感激もひとしお。

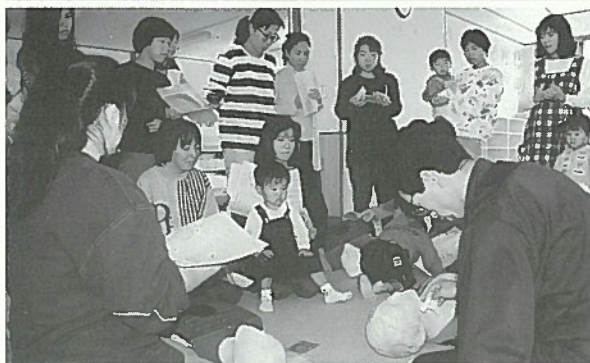
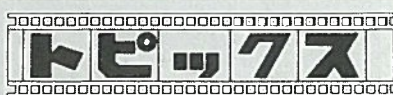


△指揮元モントリオール交響楽団首席チューバ奏者のロバート・ライカーさん。

10月20日

若いお母さんたちも、万一来「救急法」を学びました。

4歳までの子供を持つ白河市、西郷村など近隣のお母さんたちでつづっている育児サークル・バンビ（代表菊地阿左子さん＝白河市字真舟在住）16人は、小田倉児童館を借り白河消防署西郷分署員（縄田喜則分署長）を講師に招いて、救急法、乳幼児の事故防止と対策、ダミーを使つての人工呼吸法を1時間半に渡つて熱心に学びました。このサークルは、育児で同じ悩みを持つお母さんたちが、毎週1回集まつて交流を深めているそうです。



10月27日

秋晴れの中、川谷小と西郷一中でゴミ拾いをしました。

この日、川谷小学校（星春夫校長児童86人）は「クリーン作戦」と称して通学時間帯に、自分たちの通学路の空き缶やゴミ拾いを実施しました。この活動は、平成元年頃から毎年続けられています。

また同じ日、西郷第一中学校（福田善和校長生徒397人）の文化祭「ひうち祭」行事の一環として全校生各グループごとに、ゴミ拾いをしながらオリエンテーリングを楽しんでいました。



10月28日

西郷村社会福祉協議会法人化20周年記念大会が盛大に行われました。

昭和51年2月社会福祉法人の認可を得て、本年度で20周年を迎えましたが、この記念すべき年に先頃村文化センターで約260人が参加して村福祉協議会法人化20周年記念大会が開催されました。席上歴代会長並びに社会福祉功労者を代表して佐藤帰一さん（真船）に感謝状が贈られました。また永年勤続役員、職員表彰ならびに社会福祉功労者として特別会員、法人会員に感謝状がそれぞれ贈られました。式典に先立ち東白川福祉会特別養護老人ホーム「寿恵園」施設長・半田芳吉先生の記念講演があり、また婦人団体の踊りによるアトラクションなどが大会に花を添えてくれました。

10月29日

防火、防災の誓い新たに！

村消防団の秋季検閲が、熊倉小学校の校庭で実施されました。このほど、就任した徳田新団長ら団員280人を前に菊地村長は、「新団長と一丸となって住民の安全に全力を尽くして欲しい」と訓示。

徳田団長も「消防団員は、地域のリーダー。予防消防に努力をして欲しい」とあいさつ。この後、通常訓練等が披露されました。また、今回永年勤続、精勤、優良運転者などの表彰もおこなわれました。





工事の杭が西郷村から下郷村に手渡されました。

11月5日

R 289甲子道路国直轄事業化記念フェスティバルが下郷で開催。

国道289号の通行不能区間甲子峠工区約5.9キロが建設省直轄の権限代行事業となったことを記念して、下郷町大川ふるさと公園コミュニティセンターでR 289甲子道路国直轄事業化記念フェスティバル「21世紀に夢をのせて／みち・みらい・であい」N南会津が開かれ、沿道市町村から関係者約800人が参加。国直轄の権限代行事業を祝うと共に全員で早期開通を誓い合いました。

11月6日

廃品を使っのユニークな作品が、いっぱい幼稚園の展示会

私立西郷幼稚園（五十嵐真市郎園長）では、第一、第二、第三幼稚園ごとに廃品を使って子供たちに遊び道具を作らせ文化の日を中心に、約1週間各幼稚園ごとに作品を展示しました。この企画は、毎年当幼稚園が廃品を使用させることで、園児に想像力を豊かに失敗を恐れさせない教育目的で行っており、今年も園児1人に6～7点の作品を作らせました。作品には、「お弁当」や「乗物」など工夫を凝らした作品がホール狭しと展示されていました。



11月7日

クイズ対抗合戦には敗れましたが、こんな成果もありました。

役場職員が、福島中央テレビ「ゴジてれシャトル市町村対抗平成国盗り合戦」に出演、日頃おなじみのアナウンサーと楽しく歓談。村の特産品と観光施設などをテレビを通じて紹介してきました。今後ともこのような機会を利用して、村のPRに務めたいと思います。



11月7日

村の福祉保健事業の中核「保健福祉総合センター」（仮称）起工式が行われました。

山下地区の甲子の里希望の家の隣地に、平成7年から9年にかけて建設される予定の保健福祉総合センター（デイサービスセンター、在宅介護支援センター）の起工式が、村、工事関係者30人が出席し執り行われました。神事では、菊地村長が工事の安全を願って鍬入れなどが行ないました。これらの施設が完成すると、この一帯は村の福祉と保健事業の中核拠点となります。



後藤 萌さん(川谷小・四年)

第二十八回「手紙作文コンクール」で努力賞

郵政省主催の第二十八回手紙作文コンクールに、全国から八、七〇〇点の応募があり、この中から川谷小四年後藤萌さん(由井ケ原)の作品「遠藤



△甲賀川谷郵便局長から賞状が後藤さんに手渡されました。

表彰されました。

小田倉小・二年 大沢真美さんも

「米消費拡大推進ポスターコンクール」で入賞

平成七年度米の消費拡大推進ポスターコンクールでも、福島県知事から小田倉小学校二年大沢真美さんに、賞状「佳作」が贈られました。



△大沢真美さんの作品

平成七年度農林水産大臣 感謝状を村民四人が受賞

農林水産省で実施している農林水産統計調査記帳農家として、永年の統計情報業務に尽力、農林水産業施策のための基礎資料作成に寄与したこ

地域の交通事故 防止の貢献により 表彰されました。

十一月一日、原町スポーツセンターで開催された第三十四回福島県交通安全県民大会で、交通安全活動協力者とし

とにより十一月一日、次の方々が受賞されました。

相川一二さん(上新田)
田中三郎さん(蒲日向)
鈴木貞夫さん(長坂)
鈴木忠雄さん(下羽太)

て昭和六十二年から交通安全教育専門員の小針好栄さん68歳(米村在住)が、『福島県交通対策協議会長(県知事)表彰』を受賞。

また、『福島県警察本部長・福島県交通安全協会会長連名表彰』として交通安全教育専門員の東宮 武さん65歳(岩下在住)、『優良運転者』として追原の木村久男さん44歳がそれぞれ受賞しました。



△交通安全教育専門員の小針さん

納税功労者等と、

作文コンクールの表彰が行なわれました。

十一月十一日から十七日まで
の「税を知る週間」にちな
んで、白河税務署・新白河地
区納税貯蓄組合連合会主催の、

平成七年度納税表彰式が十一
月十三日、白河職業訓練セン
ターで行なわれました。
式上、次の方々が表彰され
ました。

【白河税務署長表彰】

寺田繁雄さん(芝原)



△佐藤白河税務署長から表彰される寺田さん

【新白河地区納税貯蓄 組合連合会長表彰】

大石忠弘さん(上野原)

また、白河税務署新白河地
区納税貯蓄組合連合会が白河
税務署管内の中学生を対象に
「税について」募集した作文
コンクールで、川谷中一年・
菊池彩子さん(蒲日向)の「豊

かな社会と税金」が同連合会
長賞に選ばれました。



△連合組合長から表彰される大石さん



△11月15日須釜新白河地区納税貯蓄組合
連合会長から表彰される菊池さん

山下栄光さん(追原)

法務大臣から表彰

されました。

永年にわたり地域防犯活動

の功労と(財)福島県更生保護協
会の事業を援助、更生保護事
業の推進に貢献された功績が

認められ、去る十一月三日、

法務大臣から表彰されました。

また同じ日、陣野原義徳さ
ん(谷地中)も四回目の法務
大臣受賞となりました。



各種大会での成績などをお知らせします。

スポーツの窓

ふくしま国体大会で活躍した

『村の選手の皆さん』を

ご紹介します。

◎グランドゴルフ

団体戦第三位

西郷村チーム

個人戦第六位

森 政義さん(追原)

◎バスケットボール

成年女子優勝

照井 淳子さん

◎ソフトテニス 第八位

村田 伸也さん

(熊倉)

◎ソフトテニス 第七位

三洞 倫代さん

(杣窪)

◎ソフトテニス 第八位

小針 由子さん

(間の原)



入賞報告！

◎ソフトテニス第七位

中野目理津子さん

(折口原・村教育委員会)



◎バレーボール第四位

上原喜美生さん

(大平・信越半導体株)



国立那須甲子少年自然の家
所長杯ゲートボール大会

十月二十日村営ゲートボール場で、国立那須甲子少年自然の家の主催でおこなわれたこの大会は、昭和五十九年から続けられており今年は、十二回を数える大会となりました。

開会式では、五十川所長もスティックを持って挑戦していました。この日、白河、西郷から合わせて二十チームが参加し熱戦の結果、優勝は田島チーム、準優勝は双石チーム、三位は白坂チームと折口原Aチームでした。



五十川少年自然の家所長(中央)も特別参加

第十九回西白河地区

小学校陸上競技会

去る十月二十四日、白河中央スポーツ公園内陸上競技場（白河市巾田地内）で開かれた第十九回西白河地区小学校陸上競技会で、活躍された村内の小学生の児童の皆さんをご紹介します。

（敬称略 注：○の中は順位）

【男子】◇千原④鈴木寛延

（米小）⑥緑川裕樹（小田倉小）

◇走高跳④小山田翔（熊倉小）

⑤小林雅仁（小田倉小）

◇ソフトボール投げ①大倉正義（熊倉小）

②矢貫俊之（小田倉小）

【女子】

◇百②穂積幸子（熊倉小）

◇八百④真尾清香（小田倉小）

◇八十④障害

⑤成井愛美（熊倉小）

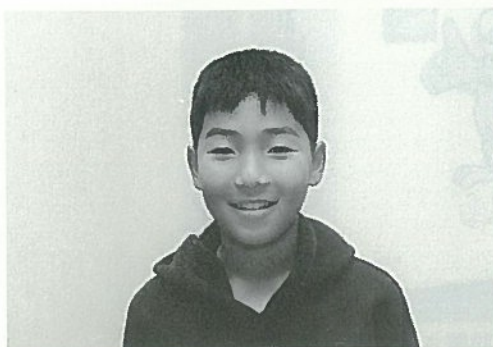
◇走幅跳②國井三穂（小田倉小）

◇走高跳②菊池桃子（米小）

◇ソフトボール投げ④遠藤佳世子（米小）

◇四百④リレー⑤

小田倉小⑥熊倉小



今大会「ソフトボール投げ」で優勝した大倉君

「川谷スポ少」ソフト試合

レギュラー、マイナーの部

でも大活躍！

第十二回西郷村

体育協会長杯

ソフトボール大会

西郷村スポーツ少年団主催の第十二回西郷村体育協会長杯スポーツ少年団ソフトボール大会は、十一月十二日、秋晴れの中、米小学校校庭と米多目的運動広場の二カ所で行われ、三チームが参加し開かれた。



川谷と小田倉スポ少チームの試合

成績は、次の通りです。

▽レギュラーの部

優勝 折口原チーム

準優勝 小田倉チーム

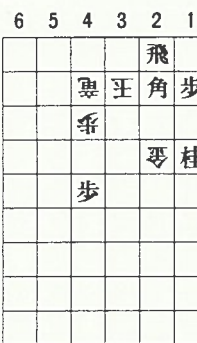
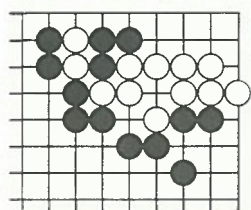
第三位 川谷チーム

▽マイナーの部

優勝 折口原チーム

準優勝 川谷チーム

有段を目指して



解答は17ページ

詰碁

出題 九段 武宮正樹
●黒先コウ・7手まで
●ヒント：ヨセのつもりで。
3分まで1級、2分以内で有段者。

詰将棋

出題 九段 北村昌男
●ヒント：持駒が金なら3三金、同竜、3一角成まで。
10分まで2級、5分まで二段。
持駒 角香

空缶回収機設置のお知らせ

空缶のボーイ捨てを防ぎ、環境美化意識の高揚を図るためこの度、小田倉小学校わきの小田倉児童館内に「空缶回収機」を設置しました。

空缶一缶を入れるとシール一枚出ます。このシール二百五十枚で五百円の図書券一枚と、児童館で交換できます。回収機を利用できる空缶は百三十五ミリリットルから五百ミリリットルまでのスチール又はアルミ缶で、ガラスビンは利用できません。

また、空缶は中身が残らないように水分をよく切るか、水洗いしてから機械を利用しましょう。

児童館の開館している時は、いつでも回収機を利用できます。

くわしくは、住民生活課へおたずね下さい。



小田倉児童館に設置された回収機

ストップ ザ 交通死亡事故

福島県の交通死亡事故による死者は、7年連続200人を超える厳しい情勢にあり、今年10月31日現在の交通事故による死者は、202人を数え、前年同期より37人多く、増加数全国第一位となっています。

特に、夜間の事故による死者は113人と多発し全死者の半数を超えるなど、このまま推移すれば前年を大きく上回ることが懸念され、極めて憂慮すべき事態になっています。

師走になり、何かと気忙しい折、くれぐれも交通事故には注意しましょう。

(白河警察署西郷・甲子高原駐在所)



国民年金だより

《福祉年金課年金係》

年金は請求しないと

もらえません！

役場に国民年金の請求をする前にご注意下さい！

厚生年金の期間が一年以上ある人は六十歳から特別支給の老齢厚生年金が支給され、一年未満でも六五歳から老齢基礎年金に上乗せして支給されます。年金の請求先は社会保険事務所になりますが、厚生年金手帳を紛失したり、厚生年金期間がわずかしかないうような場合は、つい忘れがちですので、職歴を整理して社会保険事務所で厚生年金期間の有無を確認してみして下さい。

社会保険事務所には、社会保険庁のコンピュータと直結する端末装置が設置されており、国民年金、厚生年金、船員保険の期間が分かるようになっていきますので、事前に自分の年金のことを相談しておくとういでしょう。

また、福島駅前にある年金相談サービスセンターでも同じように行っています。

相談を受けられる方は、職歴メモ、年金手帳、印鑑を持参して下さい。

年金手帳は一人に一冊で、記載されている記号番号は一生を通じて変わらないものですから大切に保管して下さい。

乳幼児のための健康カレンダー (12月・1月)



GCG接種時、11月10日村文化センター

月 日	種 目	受付時間	場 所	対 象 な ど
12月1日(金)	3才児健康診査	午前1:00~1:30	村文化センター	平成4年7・8月生まれの幼児
6日(木)	2カ月児教室	午前10:00	◆	平成7年9月生まれの乳児
7日(木)	6~7カ月児健康相談	◆ 9:30~10:30	◆	平成7年4・5月生まれの乳児
8日(金)	1才6カ月児健康診査	午後1:00~1:30	◆	平成6年4・5月生まれの幼児
20日(木)	3~4カ月児健康診査	◆ 1:00~1:30	白河保健所	平成7年8月生まれの乳児
平成8年 1月10日(木)	2カ月児教室	午前10:00	村文化センター	平成7年10月生まれの乳児
11日(木)	12~13カ月児健康相談	午前9:30~10:30	◆	平成6年11・12月生まれの幼児
24日(木)	3~4カ月児健康診査	午後1:00~1:30	白河保健所	平成7年9月生まれの乳児

健康なために!

「規則正しい生活で長寿を」

独 古 丑三郎 (川谷)
82歳・農業

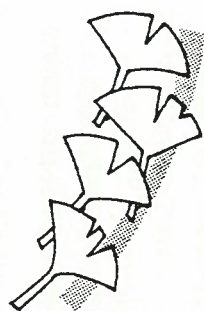
長寿を祝福しないものはいないし、人間として寿命を延ばす努力は大切だ。それは朝起きることから始まって規則正しい生活に負うところが多いと私は考える。

私九年前に胃を手術、そして一年後には腸も手術、病気の苦痛は十分に体験した結果、自分の食べ物は自分で作り、規則正しい生活を続けている。まず、朝五時半には妻

最近では夜型人間が増え、特に若者は、その傾向が強く、生活も不規則になりがちのようだ。体にムリがきく若いころも映画や芝居を楽しんだが、一日の生活のリズムがそれほど変わることがなかった。規則正しい生活を心かけたい。

福島民友 (10/22)

〔読者の窓〕より



●入院時食事療養費の自己負担(1日あたり) 平成6年10月1日~平成8年9月30日

一 般 加 入 者			600円
住民税 非課税 世帯等	過去12か月の 入院日数	90日までの入院	450円
	(H6.10.1 以降のもの)	90日を超える入院	300円
住民税非課税世帯等でも高齢福祉年金を受けている人			200円

※住民税非課税世帯等の方は「標準負担額減額認定証」が必要となりますので、市区町村の担当窓口で申請を行ってください。

★入院時の食事代は、高額療養費の支給の対象となりません。

療養の給付 (医療費の3割〔または2割〕 の自己負担でみてもらえます)

みなさんが病気やケガをしたとき、国保を取り扱う医療機関で、必要な医療を治るまで受けられます。そのときの医療費のうち、3割 (または2割) を医療機関の窓口でご負担ください。残りの医療費は国保が支払うことになっています。

※入院時の食事については、別に左表のとおり負担となります。



国 保 の 知 識

〔福祉年金課国保係〕

12月の主な行事

1日 年末年始における犯罪及び事故の防止(警察庁)
脱スパイクタイヤ運動推進月間(環境庁)
大気汚染防止推進月間(環境庁)
年末特別警戒(税関)(時期未定・大蔵省)
骨髓バンク推進月間(厚生省)
歳末たすけあい運動(厚生省)
食品の年末一斉取締月間(～28日・厚生省)
移動禁止植物等に関する広報強化週間(中旬・農林水産省)
年末年始の輸送等に関する安全総点検(年末年始特別警戒)及び航路標識の総点検(中旬～1月上旬・運輸省、海上保安庁)

1日 世界エイズデー(厚生省)
冬の省エネルギー総点検の日(省エネルギー省資源対策推進会議)
雪崩防災週間(～7日・建設省)
3日 障害者週間(～9日・総理府、厚生省)
4日 人権週間(～10日・法務省)
9日 障害者の日(総理府、厚生省)
身体障害者福祉週間(～15日・厚生省)
10日 人権デー
23日 天皇誕生日
29日 国際生物多様性の日(環境庁)

12月

(師 走)

December

第四十二期自衛隊

生徒募集について

《自衛隊白河募集事務所》

(1) 受付期間

平成七年十一月一日(水)から平成八年一月四日まで(木)まで(締切日必着)ただし、平成八年三月中学校卒業予定者の受付及び試験期日については、文部・労働両省から示された期日以降実施します。

(2) 応募資格

中学校卒業(見込み含む)の方で、平成八年四月一日において十五歳以上十七歳未満の男子

(3) 試験

一次 平成八年一月六日(土) 試験科目五教科、作文
一次試験合格発表
平成八年一月十七日(水)

二次 平成八年一月二十五日(木)～二十八日(日)

の間に指定する一日

口述試験(個別面接)

身体検査、適性検査

合格者の発表

平成八年二月二十六日(月)

(4) 入 隊

合格者は、採用予定者として平成八年三月下旬の入隊となります。詳しくは、左記へお問い合わせください。

自衛隊白河募集事務所

☎〇二四八―二四―〇三七二

税務署に提出する用紙が、変更になります。OCR用紙の使用にご協力ください。

《白河税務署》

白河税務署にご提出いただく所得税確定申告・青色申告決算書・収支内訳書等様式が、平成七年分から、OCR(光学式文字読取装置)用紙に変更となります。

提出に当たりましては税務署からお送りしました申告書等(OCR用紙)をお使いいただくようご協力ください。

機械での処理になりますので、折り曲げたり、汚したりしないようお願いいたします。詳しいことは白河税務署までお問い合わせください。

☎0248(22)7111



郵便局からのお知らせ

「郵便外務員は 犬が苦手!」

郵便局では年末年始のたくさん郵便物を配達するために、多くの学生アルバイトさん handed 伝いをいただいています。

毎年学生アルバイトさんから「放し飼いになっている犬がこわくて・・・」という声が聞かれます。

どうか、郵便受箱や玄関の近くでは、長いロープでのつなぎ方や犬の放し飼いは避けていただくようお願い致します。



「ご存じですか? パスポートが変わります。」

今年十一月一日から旅券法の改正でパスポートの種類が増えることになりました。

内容は、現行の五年間有効なものに十年間有効なものが増え、五年間有効なものに子供料金(十二歳未満対象)が新設されます。また、十年パスポートは査証のページ数が増え、便利になります。さらに、親のパスポートに子供の名前を加える現行の併記の制度は廃止されます。

どのパスポートを取得するかは申請者の選択になります。

※注意事項

▽併記の制度が廃止になります。(十一月一日以前に併記をした旅券は有効期間内で使用できます。)

▽申請案内、申請用紙は変更になります。(現在使用されているものは使用できません。)

▽年齢に関するものは、申請時点での満年齢です。

なお、内容などでご不明な点があれば、福島県庁パスポート窓口までお問い合わせください。

☎0245②7999

ゆうせん 12 月の番組予定表

12/31



放送時間は あさ 6:30
7:15
ひる 12:30
よる 18:30
21:00

・火曜日は「健康アラカルト」
・木曜日は
「クッキングサロン」
・土曜日は「みんなの広場」

1

歳末助け合い
運動に
ご協力を

2

クリスマス
ソング特集



3

4

冬のスリッパ
事故に注意

5

エイズに
関する事

6

大掃除に
ちよつと
一工夫
PART 1

7

(大雪)
ステーキ
ピラフ

8

(針 供 養)



9

「人権週間とは？」
今年を振り返つて
(人権擁護委員
山縣重信氏)

10

日曜・祝日の
放送は
お休み!!

11

年末年始の
交通事故防止
県民総ぐるみ
運動

12

エイズに
関する事

13

大掃除に
ちよつと
一工夫
PART 2

14

はくさいの
千切りサラダ

15

年賀状は
お早めに

16

「詩の朗読」
熊倉小学校5年
(石井雄哉君)

17

18

年末年始の
防犯運動

19

骨髓バンク
月 間

20

冬の
省エネ
総点検を!!

21

はくさいの
洋風鍋

22

温泉と健康

23

(天皇誕生日)
放送は
お休み

24

25

クリスマス
冬の
火災予防
(白河消防署
西郷分署長)

26

骨髓バンク
月 間

27

ちよつと
一工夫で
楽しい新年を!!

28

ほうれん草の
中華ソテー

29



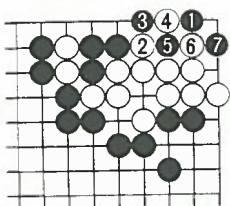
30

「今年を
振り返つて」
(西郷駐在所員)

今月の納税

固定資産税 第3期分
国民健康保険税 第6期分

13ページの解答



〈詰善正解〉黒1のサルスベリは、ヨセの手筋でもあります。死活にも通用、黒7のハネでコウ。

〈詰将棋正解〉3四香、同金、4一角、同竜、3三角成、同玉、2二飛成まで7手詰め。

〈解説〉3手目4一角と打ち捨て、竜の横利きを消しておくのがポイント。なお、初手3四香に①3三合なら同香成、同竜、3一角成まで②2三玉なら3三角成以下容易です。

ゆうせんメモ

いよいよ師も走る「師走」福島国体に国勢調査……などなど、慌ただしかった平成7年もあつという間に終わろうとしています。気を落ち着けてじっくりと乗り切りたいですね。

さて、今月の主な番組ですが、火曜日の「健康アラカルト」は「エイズ」と「骨髓バンク」について。木曜日の「クッキングサロン」は、師走にぴったりの簡単料理を。土曜日の「みんなの広場」は、2日が「クリスマスソング」。9日は

人権擁護委員の山縣重信氏、16日が「詩の朗読」で、熊倉小学校5年の石井雄哉君、30日は、西郷駐在所の方にご登場いただきます。では、来年も有線放送をどうぞ、宜しく!!

善意をありがとう

ございます。

◎西郷村社会福祉協議会に寄付された方々をご紹介します。
▼金田キクノさん【追原】
(十月十八日、故金田八男さんの遺志として)
三〇、〇〇〇円



白岩収入役に寄付金を手渡す金田さん

▼斉藤ミヨ子さん【下新田】
(十一月一日、社会福祉事業のため)
一〇、〇〇〇円
▼高木 昇さん【鶴生】
(十月二十五日、故高木次郎さんの遺志として)
一〇〇、〇〇〇円

誌上天然色作品展

図画

やさいまつり

熊倉小学校二年 菊池 大介



先生からの一言

佐藤 照美先生

楽しかった やさいまつりの思い出です。水ふうせんつりが楽しかったようです。みんな、にこにこ顔です。



詩

小さなアリの命

熊倉小学校五年

石井 雄也



グチャ

小さなアリの命 また一つ減った
ぼくらの大きな足で

小さなアリの命を消していく

今までがんばって生きてきたのに

精いっぱい生きてきたのに

一分でいや一秒で

小さなアリの命を

人間の大きな足がふみつぶしてしまう

ぼくだって

小さなアリの命を消している一人だ

自分でも気づかないうちに

だけどやつぱりぼくは

この世から消えるものは

アリ一匹でもいいやだ

先生からの一言

本多 直子先生

いつも友達にやさしい雄也君、ふだん、見逃してしまいがちな小さなアリへも優しいのですね。どんなときも命を大切に思う心をずっと持ち続けてください。

身近な花をたずねて 33

ス ス キ

平地や山地の日当たりのよい場所に普通に見られる大型の多年草、これも秋の七草のひとつです。秋風にススキの穂のゆれる姿は、現役を退いた満足感にあふれた趣を感じます。

(撮影・平成6年11月18日、台上地内)



編集後記

先日、福島中央テレビ火曜夕方放映の「ゴジてれシャトル」市町村対抗平成国盗り合戦」に出演してきました。村企画調整、商工観光課の職員八人が参加。対戦相手の大玉村とのクイズ対抗の結果、六対四で残念ながら敗退してしまいました。ご覧になった方もいらつしやるのではないのでしょうか。午後四時に局に入ってリハーサル、五時の本番は、あつという間に始まり、そして終わった感じです。しかしながら、この様な機会に村の物産のPRができたことや、生出演といった貴重な体験ができたことに、参加した職員も私同様クイズ対戦結果とは別に一応満足できたようです。今回スタジオ風景を交え、九ページのトピックス欄で、一出来事としてご紹介しました。

【円谷】